

〔袋草紙〕おとたて、ものはいはねど、ゆふぐれのはへはらひつるこゑはきこえつ、シノビテオコナヒケルニ、カノクヒケレバ、アフギシテ、ウチハラヒツ、ネブリケル夢ニ、僧ノ讀カケ、ル歌ハ蠅也、詞ハ蚊、

〔異本世諺問答〕問テ曰、ヲサナキワラバノ、ヨキノ、コトイフツキ侍ルハ、イカナル事ゾヤ、答コレハラサナキモノ、蚊ニクハレヌマジナヒ事ナリ、秋ノハジメニ、蜻蛉トイフ虫出キテハ、蚊ヲトリクフ物ナリ、ヨキノコトイフハ、木蓮子ナドヲ、トンボウカシラニシテハ、ネヲツケタリ、コレヲイタニテツキアグレバ、ヲツル時ハ、トンボウカヘリノヤ、ウナリ、サテ蚊ヲオソレシメンタメニ、ヨキノコトテ、ツキ侍ルナリ、

〔陰徳太平記 三十二〕播磨守盛重繼杉原家事

丸山三九郎ト云者、佐田四〇彦ガ宿所ニ忍入、犬ノ後足ニテ、頸ヲ搔身振スル真似ヲシケリ、佐田、犬ニハ非ジト思ヒ、蚊帳ノ中ヨリヤヲ起出タルヲ、丸山早ク心得テ、立歸リヌ、翌朝佐田、丸山ニ向テ、昨夜犬ノ身振シツルハ、汝也ヤトトヘバ、左候ト答フ、何トシテ吾出タルヲ知レリヤ、サレバ宵ノ程ハ滋カリシ、蚊ノ聲モ、漸ク夜半ニナレバ、聲ノ静マルナルニ、蚊ノ聲一頻リ雷鳴シツル故、扱ハ蚊帳ヨリ人ノ出タルナリト思、歸テ候ト答ケレバ、佐田吾モ庭前ノ蟲ノ、更ル夜ニ、己ガ自恣打添テ滋カリシ聲ノシヅマリシユヘ、人來レリト知シナリ、

〔風俗文選〕燒蚊辭

嵐蘭〇服部

大盜あに樞戸を穿むや、汝がふるまふを見るに、帳をたる、時は、其翮々の間をうかゞひ、垂おはつて、縦横の透間をたづね、すべて少破の所をもとめ、人のしりへにつきて、入らむとはかる、嗚呼、跼蹐が徒にはあらじ、すべて汝がおこなふ處、猛き事もなく、たのしむ事もなし、あはれなるかたにも、やさしきかたにもあらず、たゞにくむべきもの、甚しき也、蚊、蚊、帳中の蚊、汝をやくに